

# 青い波北陽台

令和3年8月31日 発行  
長崎県立長崎北陽台高等学校  
西彼杵郡長与町高田郷3672  
TEL 095-883-6844  
FAX 095-883-0776  
発行責任者 山口千樹

## A Beautiful Name

教頭 濱栗啓吾

### ♪ Every child has a beautiful name, a beautiful name, a beautiful name...♪

日本のバンド ゴダイゴ（「銀河鉄道999」（映画版）で有名ですね！）が1979年に発表した

「ビューティフル・ネーム」のサビの一節です。当時はNHK『みんなのうた』でも扱われていて、ボーカル・タケカワユキヒデさんの優しい歌声とネイティブスピーカーなみの素晴らしい英語の発音が織りなす、子どもたち一人ひとりの命の大切さと名前の素晴らしさを歌った素敵な曲です。

これまで生徒を含め多くの人との出会いがあり、それぞれのお名前とともに記憶に残っています。その中でも特に「a beautiful name」として頭の中に刻まれているお名前のひとつ、「恕子」さんについて今号ではお話ししたいと思います。

恕子さんはまさに「名は体を表す」ということわざを思い起こさせてくれる生徒で、命名した親の願いを立派に体現していました。この「恕」という漢字ですが、約2500年前、孔子の死後に弟子が記録した中国の書物である、「論語」に以下のように用いられています。

#### 子貢問曰、有一言而可以終身行之者乎。

子貢が（孔先生に）おたずねしました。「一つの言葉で死ぬまで覚えていて、いつも実行できる言葉がありますか。」

#### 子曰、其恕乎。己所不欲、勿施於人。

孔先生がおっしゃいました。「それは『恕』だろうね。自分がしてほしくないことは、他の人にもしてはいけない、ということだね。」（「はじめてであう論語」②友だち編・汐文社）  
図書館にありますよ！

孔子は「恕」を「己所不欲、勿施於人」と具体的に言い換えています。そもそも「恕」は「しなやかな心」を表す文字から成り立っており、「相手を思いやる」、「思いやり」などの意味を持っています。恕子さんは他者への思いやりに満ちた生徒で、医療従事者の道へと歩んでいきました。

ここからが本題です。

新型コロナウイルス感染拡大は間違いなく人類の歴史に刻まれ今後も語り継がれていく危機となるでしょう。その危機を、ワクチンや特効薬の開発を可能にする人類の叡智、さらに2500年前の教え「恕」の実践をもって乗り越えていけると考えます。つまり、新型コロナウイルス感染拡大だけではなく、今後

訪れるかも知れない様々な脅威に立ち向かっていくために**学び続ける**こと、さらに自分の学び、他者の学びを止めないためにも相手の立場に立って**感染予防を徹底する**ことが今の私たちに課された至上命題であるということです。新型コロナウイルス感染ならびにその拡大を欲する人がいるのでしょうか。良識ある人ならば「No」と即答するでしょう。ならばそれを他者へ施すなんてもってのほかです。今こそ皆さんの心の中に大なり小なりある「恕」を最大限発動するときです。長崎北陽台生一人ひとりがお互いを思いやりながら主体的に「ゼロ密」「黙食」ととことんやり抜き、学びを充実させていけたらと心から願っています。

## 3年生 夏季校内学習会

8月1日（日）～7日（土）の7日間、本校において、3年生の夏季校内学習会が実施されました。

学校での100分×5コマの学習、帰宅後自宅において100分の学習、1日600分の長時間の学習を行うことで、進路実現に必要な学力の充実を図るべく、集中して取り組みました。



## 平和学習

8月9日(月)、平和学習として「『長崎の記憶』～幻の原爆フィルムで歩く長崎～」というDVDを鑑賞し、プリント学習を通して理解を深めました。

11時2分には、各教室において、爆心地の方向へ向けて黙祷を捧げました。

今回1・2年生は、一人一台端末として配付されたタブレットを用いて感想文を入力しました。



## 部活動等の成績

生物部	第45回全国高等学校総合文化祭 ポスター発表 文化庁長官賞(全国2位) 第11回高校生バイオサミット in 鶴岡 山形県知事賞・審査員特別賞
登山部	福井インターハイ 男子8位 女子8位
陸上競技部	第76回九州陸上競技選手権大会 男子ジュニア走幅跳 2位
理数科	第23回中国・四国・九州地区理数科高等学校 課題研究発表大会(福岡大会) ステージ部門 優秀賞

## 9月の主な予定

8日(水)	生徒指導講話(薬物乱用防止)
13日(月)	体育大会予行
15日(水)	体育大会
16日(木)	体育大会予備日 放課後自学再開(3年)
18日(土)	土曜自学(1・2年) 校外マーク模試(3年、～19日) 進学ゼミナール(1・2年希望者)
20日(月)	学校開放(3年)
21日(火)	水産学部研修成果発表会(1・2年理数科、2年理系)
22日(水)	試験時間割発表
24日(金)	人生の達人セミナー
30日(木)	1・2年2学期中間試験 3年学年末試験

## 各学年より

### 1学年主任 林 圭介

### 「2学期開始」

短い夏休みが終わって、19日の校内実力試験から学校生活が再開しました。休み中は、7月末に立てた学習計画に沿って取り組めたでしょうか。学習に対する意識は高く持ち続けてください。

さて、7月に実施された校外記述実力試験の結果が返ってきました。高校生になって初めての全国規模の試験でしたが、手応えはどうでしょうか。45万人弱が受験した試験です。全国における自分の位置を把握することは、今後に向けても大切なことだと思います。次は11月に同じような校外記述実力試験が実施される予定なので、目標を持って取り組んでください。

新型コロナの感染者数が増えたために、残念ながら20日から部活動が禁止になってしまいました。9月1日に予定されていた「文化部発表会」も当面の間実施できない状況になりました。学校生活においても、黙食などいろいろと制約がありますが、それぞれができる範囲で予防を心がけていきましょう。

### 2学年主任 下村かおり

### 「2学期のスタート」

夏休み中は事前に立てた計画を順調に進めることはできていたでしょうか。いつまでに何をやるのか、ゴールを見据えて逆算して考えることは大切だと思います。次は2学期に目を向けていきましょう。

長期休暇の過ごし方、ということでフランスの例が取り上げられることがよくあります。バカンス(vacances)というフランス語は「空白」を表すようですが、有名観光地巡りではなく、旅行ガイドブックに載っていないような所をぶらぶらし、わくわくしながら誰にも知られていない秘密の何かを探るのが典型的な旅行スタイルのようです。いわゆる「プラン」を思い切って捨ててしまい、「行き当たりばったり」な行動をとることで、脳を現実モードから妄想モードに切り替えて、気分を一新するのです。

北陽台生に、「行き当たりばったり」的な日常を過ごすよう奨励しているのではありません。計画性が第一です。でも、時には疲れた心身のリフレッシュのために、1日、そのような過ごし方をするのは有効かもしれませんね。上手く自分の気持ちと向き合いながら、2学期を充実させていきましょう。

### 3学年主任 守 慶直

### 「校内学習会を終えて」

8月1日から一週間行われた校内学習会から一か月が過ぎようとしています。可能な限り皆さんの学習の様子を見回りましたが、ほとんどの人が集中して取り組み、積極的に質問したり講座を受けたりと、充実した一週間を過ごすことができていたのではないかと思います。あの一週間で長時間の学習に取り組む習慣を身につけ、それぞれが立てた目標や計画を達成することができたでしょうか。さらに、その後の学校閉庁期間の家庭での取り組みに活かすことができましたか。8月31日時点で、大学入学共通テストまで残り137日。その時は確実に近づいており、焦りが出てきている人もいます。しかし、焦るということはそれだけ真剣に受験のことについて考えることができています。ただ、焦るだけでなく、校内学習会の際と同様に今後も短期、長期の計画をうまく立てて、学習に取り組んでいきましょう。9月には体育大会やマーク模試、学年末試験が計画されています。忙しくはありますが、充実した学校生活を送ることができるよう、体調を整えながら頑張りましょう。